



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和3年10月

〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

耳を澄ますと虫の鳴き声。いつの間にやら季節が移り変わっています。暑かった夏が過ぎ、いつしか過ごしやすい毎日になってきていますね。

With コロナ ～よりよい方法を考えて～

9月30日まで延期となった緊急事態宣言。夏休み明け集会で、「コロナ感染症予防の再徹底について」養護教諭の藤木先生が子どもたちに話しました。それを受けて、子供たちは、コロナ禍での活動をどうすすめるかよいか「よりよい方法」を考え始めました。

○田中亮明選手との交流会の中でのことです。

亮明選手にお祝いのメッセージを伝えるために、児童会の子が考えた方法は、「おめでとう」看板を掲げることと拍手すること。マスクをしていても大きな声を出さず、飛沫を飛ばさずことなき思いを伝えることができました。また、学級交流会は銅メダルを見せていただくこと、交流会前に石けんで手洗い消毒。清潔な手でメダルを、一人一人触らせていただくことができました。



○6年2組の学活の時間のことです。

にこプロの取組で、タブレットを活用して学級レクリエーションをやっていました。進行していた杉浦さんは、「いつオンライン授業をやらないといけなくなるかわからないから、慣れるために Teams を使ってやります。」と提案し、タブレット端末をスムーズに活用できるように学級遊びを考えていました。

子どもたちはすごい！ 意識の高さを驚くとともに感心し、市小の子どもたちが成長できるよう取り組んでいきたいと改めて感じています。

田中亮明選手との交流会から ～貴重な時間になりました～



◇「感謝している人がたくさんいる」と知って、自分もその感謝している人の一人なんだなと思い、すごく嬉しかった。(岩井さん)

◇銅メダルはとても重かった。この重みが亮明選手の頑張りだと思い、私も努力や挑戦できる人になりたい。(長谷川さん)

◇空手で1番になれないならボクシングでという諦めない強い思いがすごい。僕も諦めず自分を信じていきたい。(鈴木さん)

こうして交流会ができたのも、亮明選手、毎日の健康管理等してくださっている保護者の皆さん、子どもたちの活動にご協力くださった地域の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

今後の教育活動について

コロナ感染者が減り、多治見市のステージが下がってきています。このままいけば10月からの教育活動は、予定通り行うことができると考えています。

10月の主な行事は、以下の通りです。

◇25日～ 「けんこうウィーク」 心と身体の健康に係る取組

◇29日 「いちのくらフェスティバル」(体育科授業参観) 全学年参加で午前中

* 詳細は後日お伝えしますが、保護者2名参加を予定しております。

有意義な教育活動が行えるよう、今後もご家族を含めた毎日の健康管理等、ご協力をよろしくお願い申し上げます。